

# 清水町長に高薄氏4選



万歳三唱で4選を喜ぶ高薄氏（右から2人目）と玲子夫人（同3人目）。右端は河原崎幹事長、左端は桜井本部長（24日午後10時すぎ）

高薄氏の選舉事務所（町本通3）に電話で当選確実となる3400の得票が伝えられる。「おお」と歓声とともに花束を手渡す。選対本部の高々と掲げた。選対本部の発声では涙ぐむ後援会幹部も。

「幅広い支持に勇気」 高薄氏

24日午後9時40分すぎ、

高薄氏は玲子夫人を伴って事務所入り。だるまにVの字を書き入れ、後援会の声と拍手が湧き起つた。中には涙ぐむ後援会幹部も。

万歳を三唱、桜井泰裕本部長は「必ず4選を果たせると信じていた」と声を震わせた。高薄氏は「皆さまの心温まる支援のたまもの。若い女性から受け取った花束を高々と掲げた。選対本部の発声では涙ぐむ後援会幹部も。

層から高齢者まで幅広い支

持をいただき、勇気づけられた」とあいさつ。晴れやかな笑顔で支持者と握手を交わした。豪太龍一道議会議長や管

野氏（24日午後10時）

敗戦の弁を述べる高野氏（24日午後10時）

開票結果（確定）	
当3436	高薄 渡（71）
3170	高野勝仁（48）

前回選挙と同様に現職と新人による一騎打ちとなつた今回の町長選で、高薄氏は3期12年の行政改革の推進により130億円もの町の借金を減らした実績と経験を強調。従来の支持基盤に加え、「中学生3年生以下の医療費完全無料」など手厚い子育て支援策を打ち出し、若年層や浮動票の取り込みを図り、高野氏を振り切つた。

一方、組織に頼らない草の根選挙を開いた高野氏は、若さと行動力を訴え、

【清水】任期満了に伴う町長選は24日、投票が行われ、即日開票の結果、現職の高薄渡氏（71）＝無所属＝が3436票を獲得し、新人の高野勝仁氏（48）＝同＝を266票差で破つて4選を決めた。高薄氏は3期12年にわたる財政改革の実績と経験を訴え、農業者や建設業者など從来からの底堅い支持基盤を背景に、高齢者を中心として支持を集めた。高野氏は「町民が主役のまちづくり」を訴え、接戦に持ち込んだあと二歩及ばなかった。清水町長として4度の当選は故矢地広一氏（7選）に次ぐ。

一部現町政への批判票を取り込んだものの、知名度不足もあり、現職の壁を打ち破ることはできなかつた。投票率は79・16%で、町長選としては過去最低だった前回（80・37%）を1・21%下回り、過去最低を更新した。

（略歴）たかすすき・わたらせ・1941年、清水町生まれ。清水高卒。61年に役場入り。助役を経て2001年の選挙で初当選した。

高野氏の陣営は24日午後9時56分、落選の報が伝わると支持者の約50人は「えー」とため息交じりの声を漏らし、事務所（町南11）内は一気に落胆ムードに包まれた。

間もなく高野氏が由香夫人とともに事務所に到着。橋本晃明選対本部長は「手応えを感じたが、結果を出せなかつた」と悔しさをにじませた。（大谷健人）

「力足りなかつた」 高野氏

高野氏は「非常に厳しい結果となつた。皆さんともに戦ってきたが、自分の力が足りなかつた」と深々と頭を下げた。支持者からは「頑張った」とねぎらう言葉が掛けられた。

# 新人・高野氏に266票差



発行所：十勝毎日新聞社  
〒080-8688  
帯広市東1条南8丁目  
電話（代表）0155-22-2121

# 選挙号外

十勝毎日新聞未購読の方  
7日間無料  
お試しできます  
お申し込みはお電話で  
フリーダイヤル ニコリ サンキュー  
0120-25-3999  
またはWEBで  
とかちシーソージャイロ（ほんぱい）  
[www.tokachi.co.jp/hanbai](http://www.tokachi.co.jp/hanbai)  
いつでもどこでも最新の「勝負」

勝負 電子版

QRコード

kachim.jp

持をいただき、勇気づけられた」とあいさつ。晴れやかな笑顔で支持者と握手を交わした。豪太龍一道議会議長や管

野氏（24日午後10時）

多選批判もあり、危機感

を持った現職側が、後援会

の行政改革の実績と

経験を評価するところも

に、公約で掲げた手厚

い子育て支援策など、

多くの町民が望んでき

た政策に期待寄せ、4

度目となる町政の舵

取りを委ねた。

4期目は「次世代へ

を見せた3期目は、町

内の医療・福祉環境を

充実させる施策を展開

した。しかし、従来通

り、各種個人助成を凍

結する一方、法人に対する

多額の助成を行う

ことへの十分な説明責

任を果たせず、町民や

議会の反発を招く場面

も見られ、町政運営に

影を落とし、結果とし

て266票差という小差になつた。

野氏の追い上げをかわ

した。

4期目は「次世代へ

つなぐ」（高薄氏）た

めの大切な4年間とな

る。まずは町を二分す

ることとなつた選挙結果を賣撃（しんし）に

受け止め、公約通りし

て祝辞を述べた。最後に間

木野薫雄JA十勝清水町組

合長の発声で牛乳と乾杯し

て勝利をかみしめた。

## 財政再建など実績評価

**清水町長選**

【清水】任期満了に伴う町長選は24日、投票が行われ、即日開票の結果、現職の高薄渡氏(71)は無所属で3436票を獲得、新人の高野勝仁氏(48)は同266票差で266票差で敗れた。高野氏は3期目で、これまでに築き上げてきた農業者や建設業者など底堅い支持基盤を背景に選挙戦を開いた。基礎票を打ち出し、若年層や女性

前回同様に新人との一騎打ちとなつた高薄氏は、選挙で3期12年で町の借金を130億円減らし、財政を建て直した実績を強調しながら、これまでに築き上げてきた農業者や建設業者などの手厚い子育て支援策をアピールするとともに、行政手法の転換、町政刷新を訴えることで現町政への批判票を取り込み支持を拡大したが、知名度不足もあり現職に届かなかつた。

投票率は79・16%で、前回(80・37%)を1・21%下回り、前に引き続き過去最低を更新した。

(2、15面に関連記事)

# 清水町長選 高薄氏 4選果たす 新人・高野氏に266票差

動画あり  
電子版

清水町長選開票結果			
当3436	高薄 渡	71	無現
3170	高野勝仁	48	無新
当日有権者	8,425人	有効投票	6,606票
投票総数	6,669票	無効票	63票
投票率	79.16%		

票の取り込みを図るなどして、得票率は52・01%と前回の50・69%を上回り、高野氏を振り切った。一方、草の根選挙を展開した高野氏は若さと行動力をアピールするとともに、行政手法の転換、町政刷新を訴えることで現町政への批判票を取り込み支持を拡大したが、知名度不足もあり現職に届かなかつた。

投票率は79・16%で、前回(80・37%)を1・21%下回り、前に引き続き過去最低を更新した。



万歳三唱で4選を喜ぶ高薄氏。左は玲子夫人(24日午後10時、塩原真撮影)

たかすすき・わたる 1  
941年、清水町生まれ。  
清水高卒。61年に役場入り。  
助役を経て2001年の町長選で初當選。

たかすすき・わたる 1  
941年、清水町生まれ。  
清水高卒。61年に役場入り。  
助役を経て2001年の町長選で初當選。